



奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創 立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日17:30
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話0742-33-8583
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話0742-26-3300(代)
 ■会 長：小西敏文 ■副会長：富川悟 幹事：植倉一正

発行日 / 2013年10月1日

2013-2014/12

Vol.35

No. 1665

hp: <http://naraomiya-rc.jp>
 E-mail: info@naraomiya-rc.jp
 2013-14年度当クラブテーマ

『ガバナー年度に向け
 意義ある奉仕活動をしよう!』



国際ロータリー第2650地区

ガバナー 坂本 克也

「あなたの善から、
 みんなの善へ」



四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

本日のお客様

●宮本 正明 様 (大阪東RC)

会長報告

●先週土曜日、9月21日、学園前ホールに於きまして、秋の全国交通安全運動市民決起大会が行われました。当クラブからは19名というたくさんの皆さんに参加頂きました。9月21日～30日(月)までの10日間、この間飲酒運転・スピード違反諸々の違反をされませんように宜しくお願い致します。

●先週植倉幹事と二人で森山会員のお見舞に行っていました。胃潰瘍で吐血され救急車で運ばれ入院されたと聞きました。非常に元気で、今週の検査の結果でひょっとしたら今日ぐらいにでも退院するかも知れない、とのことで、皆さんによりよく伝えて下さい、との事です。

●9月17日(先週火曜日)、朝6:00前のNHKラジオで、奈良市針町10℃、近畿地方で一番寒い、と報告して頂きました。ついに私のシーズンが来たかと思えます。非常に朝晩が寒く昼が暖かい。今日の情報では10月2日3日にはまた30℃以上になるようです。十分ご自愛して頂くように、よろしくお願い致します。

委員会報告

社会奉仕委員会：中奥委員

先ほど会長からも報告がありましたが、先週9月21日(土)秋の交通安全運動市民決起大会に参加して参りました。本当に多数、19名の会員の皆さんにご参加頂きまして、有難うございました。

米山記念奨学会委員会：平方委員長

10月は米山月間となっております、来週また特別寄付のお願いをさせて頂きたいと思いますが、今日は豆辞典が地区から送られてきておりますので、本日状差しに入れさせて頂いております。10月ま

例会プログラム

第13回 10月1日

通算1665回

1. 開会の点鐘
2. ソング
「君が代」
「大宮ロータリーソング」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. クラブ討論会
(職業奉仕委員会担当)
6. 閉会の点鐘

例会状況報告

第12回 9月24日

通算1664回

◎会員数 75名
 ◎出席規定免除者数 2+24名
 ◎出席義務者数 49名
 ◎欠席者 14名
 ◎出席者 53名
 ◎出席率 79.10%

第10回 9月10日

通算1662回の修正

◎会員数 75名
 ◎出席規定免除者数 2+24名
 ◎出席義務者数 49名
 ◎欠席者 9名
 ◎補填者 3名
 ◎出席者 62名
 ◎出席率 95.38%

た宜しくお願い致します。

2014-2015年度・2650地区総務担当：谷川幹事予定者

今年の7月新年度からガバナーエレクト事務所が開設しておりますが、この9月にホームページをアップしております。エレクトのご挨拶や、地区のクラブの例会案内等、まだ情報としては非常に少ないですが、大宮ロータリークラブのHPからもリンクしてもらえよう現在お願いしておりますので、是非一度ご覧頂きたいと思います。

35周年実行委員会：小池委員長

35周年記念事業が一カ月近くに迫ってまいりました。いよいよ三笠中学校で行われますが、次回例会終了後、委員の方々はお集まり頂きたいと思いますので、宜しくお願いします。

卓 話

春日大社 権宮司 岡本 彰夫 様

「辞世を味はふ」



皆さん今晚は。本日は有井さんのお声がけでお伺いいたしました。宜しくお願いいたします。さて、本日は辞世の話をいたしたいと思います。昔の人は、亡くなる時には辞世の歌を詠んで、自分の一生のメッセージを次代に託すと言う事を必ず嗜みとしてやっておられました。もう私たちも、考えておかなければいけない世代です。一度お考えください。

日本で最古の辞世は、「古事記」です。そこに日本武尊の歌がありまして、日本武尊が東国から戻られる途中伊吹山で大きな猪が出てきて、その毒氣にあたられて、亡くなられました。その時に大和の国を偲んで歌をお歌いになっております。「三重村に到りませる時に、亦、吾が足三重の勾如して甚く疲れたり」要するに足が三重に折れて酷い状態で、それが三重県の興りです。決してめでたい言葉ではありません。そこから、伊勢の能煩野にお入りになられて、詠まれたのが「やまとは、くにのまほろば、たたなづく、あをかき、やまごもれる、やまとしうるはし」で、今は「あおかき、」で切るのが正しいとされています。

これは日本武尊の辞世の歌であります。「いのちの、またけむひとは、たたみこも、へぐりのやまの、くまかしがはを、うずにさせ、そのこ。」も思國歌で大和を懐かしむ歌である。昔は平群という所は、大切な場所であった事が、推察されます。

次に、日本で一番有名な辞世は、「古今和歌集」の、なりひらの朝臣（在原業平ありわらのなりひら）の歌。「つゐに行 道とはかねて ききしかど 昨日けふとは 思わざりしを」でこれが正しい。

次に水戸黄門さんの歌で「桃源遺事」に書かれていまして、「西山公御隠居後、常々御はなしあそばされ候は、世の人末期に辞世と申候て、詩歌など致候、去ながら病気の品により、さやうの事ならざるもあるべく候、我は隠居して江戸を立候あした、中將に残し置候詩」が辞世なり。ようするに、辞世の歌は死に際に詠んでも遅い。元気なうちに詠んでおけ。黄門さんは江戸から隠居して水戸へ帰る時に自分の息子に渡したそうです。

「泊百筆話」江戸時代には随筆が沢山書かれていました。自分が一代で勉強したことや、見聞したことを全部書き残してある。日本随筆大成などは、百四、五十巻あり、江戸時代の知識の宝庫だと言われています。その中に「泊百筆話」があり、縣居翁の門人にとありますが、賀茂真淵（かもの まぶち）という国学者、荷田（かだの あずままる）本居宣長（もとおり の

りなが) 平田篤胤 (ひらた あつたね) この4人の先生を、国学の四大家と申します。「泊百筆話」の解説。賀茂真淵の弟子の平田保という人がおりました、この人が言うには、近代の人の辞世の歌を聞くに、禅のお坊さんの悟りを開いたような歌を残しているが、本当に悟りを開いているのか？皆口で良い事を言っているだけではないか？

この世を去るに、立派な事ばかり言う人はいないだろう。題を設けて歌を詠みますが、綺麗な歌を詠んでいるが、本当にそうなのか？まして自分の命が尽きようとしている時に心にも無いことを言うのは、つまらない事だと言っています。心の浅さが見える。

そこで、在五中将 (在原業平ありわらのなりひら) の歌は非常に優れている。こんな歌を詠むべきと平田保が言ってます。ところが平田保が自分が危篤状態になったとき、こんな歌を詠みました。「我はもよをはりなるべし いざこども ちかくよりませ よくみて死なむ」あほと違うか？これだけ偉そうなことを言って、何としようもない歌を詠んで死んでいったのか？ゆえに歌は、辞世の歌は詠む人が納得するような歌を詠んでおくべきだ。ここまでは前置きです。これから辞世の歌に入ります。

■一休禅師 (一休さん) は大変な血筋の方で後小松天皇のご落胤と言われています。

「今迄は 死なれぬ程に 生るなり 死なる程に 死ぬるなりけり」
自分は死なないから、生きてきた。今死が目前に迫っているから、死んでゆく。
自然のまま生まれて、自然のまま死んでゆく。素晴らしい歌を残した。

■一茶 (俳句の達人) 長野県で亡くなります。

「盥から たらひにうつる ちんぷんかん」
生まれて盥で産湯につかり、棺おけを盥にみたて、盥から盥に入っていくが、人生よく分からなかった。という歌です。

■井原 西鶴 (大阪の人) 好色一代男、色欲、物欲で人間を描いた人です。俳句も上手です。52歳で死んでいます。

「浮世の月 見すごしにけり 末二年」人生50年、人より2年多く月を見せてもらった。

■茨木 春朔 (儒学をやっている医者で、酒が強い) 酒合戦で勝ったらしい。

「南無三ぼう あたまの樽を のみほして 身は明樽と かへるふるさと」
しまった。飲みほして、身は明け樽になり、ふるさとへ帰る。酒飲みならではの歌です。

■石川 五右衛門 (安土桃山時代の大盗賊) 四条川原で盗賊を油で煮殺したという文献があり実在したよう。12月12日五右衛門の命日で、菊水の逆さ札は泥棒よけのまじない。

「石川や 浜の真砂子は つくるとも 世に盗人の 種はつきまじ」
盗人はいくら捕まえても又、出てくる。

■早川 丈石 (85まで長生き)

「極楽に 誕生の日は けふなれや」ここで死ぬが、極楽では生まれ生きつづける

■英 一桂 (英一蝶という有名な画家の孫) 三代で途切れるので継いだ。96歳

「百までは なんでもないとおもひしに 九十六では あまり早死」
96まで生きた人でしか言えない。

■原 總右衛門 (四十七士の1人)

「かねてより君と母とに知らさんと人よりいそぐ 死出の山道」切腹する前に詠んだもの。

■森川 杜園 (奈良人形名工) 木津川の橋の架け替えで、風邪なのに狂言をやって、病状が悪化し75歳で亡くなる。

「まかり出て あらぬ手わざを 世にのこし さもはづかしと 身はかくれつる」
杜園ほどの名工だから値打ちがあり、奥行きがある。

■勝木 正雄

「弾一つ あたり候 匆々頓首」さっぱりしている。

■吉田 松陰

「身はたとえ 武蔵の野辺に くちるとも 留めおかまし 大和魂」これは有名

■平 維盛（男前で戦で役に立たない。）

「生れては 遂に死すてふ ことのみぞ 定めなき世に 定めありける」
生まれてくれば、必ず死ぬ。定めが無い世の中で定めが有るのが死んでゆくこと。



■白鯉館 卯雲（江戸時代の官僚）忍者をやっていた。

「食べばへる 睡ればさむる 世の中に ちとめずらしく死ぬる 慰」
生きている間は、食べばへる。寝れば覚める。死ねばそのまま・・・

■本因坊（碁の達人）安井、井上、林、碁所の筆頭

「碁なりせば 劫をもたてて 生くべきに 死ぬる道には 手もなかりけり」
碁ならば、どんなことをしても生き抜けるが、死んでゆくことは手の打ちようが無い。

■加賀 千代女

「月も見て 我は此の世を かしく哉」かしく→かしこで、女性の手紙の結び。

■小山田 友清（お金持ちで、本を沢山集めた）金持ちの学者

「崩るべき 時は来にけり 築き成せし まなびの山も ふみの高嶺も」
今まで一生懸命学んできた、本も集めてきたが、最後は、無一物である世に行く。

■中山 信名

「酒も飲み 浮かれ女もみつ 文もみつ 家もおこしつ 世にうらみなし」
酒も女も全部やった。何の恨みもございません。

■歌川 豊広（広重の師匠）

「死んでゆく 地獄の沙汰は ともかくも 跡の始末は 金次第なり」
ある程度持っていないと、死ぬに死ねない。

■山崎 宗鑑

「宗鑑は どこへと人の 問ふならば ちと用ありて あの世へといへ」しゃれています。

■前田 金兵衛

「我もまた 客となる身ぞ 魂祭り」今度は自分が祭られる番。

■真木 和泉

「惜まれて 玉とちる身は いさぎよし 瓦とともに 世にあらんより」
瓦のような人と生きているなら、玉となって死んだほうがまし。

■小西 来山（俳人）

「来山は 生れたとがで 死ぬるなり それで怨みも 何もかもなし」
生まれて悪いこともして来たが、死ぬことで帳消しにして下さい。

■遠藤 日人

「行てあはむ 孔子 貫之 義之 芭蕉」向こう（あの世）にみんなおられる。

■手柄 岡持

「死たうて 死にあらねど 御年には 御不足なしと 云はば云ふらむ」
79まで生きて、歳には不足は無いと言うが、本人はもっと生きたい。

■足利 持仲

「咲く時は 花の数には 入らねども 散るにはもれぬ 山桜かな」
咲く時にはどこで生まれたか分からぬが、死ぬときは、その数は離れないで死ぬ。

■朱楽 管江

「執着の 心や娑婆に のこるらむ 吉野の櫻 さらしなの月」

逝くのに何が悲しいか、吉野の櫻とさらしなの月が見れないのが悲しい。

■三馬

「善もせず 悪も作らず 死ぬる身は 地蔵もほめず 閻魔叱らず」
何もせず、誰も相手にしてくれない。

■清水 如水

「公事喧嘩 地震神鳴り 火事晦日 飢餓わづらい なき国へ行く」
何にも心配要らない。公事（裁判）地震、飢餓何もない国へ行ける。

■自在庵 祇徳

「空さへて もときし道を 帰るなり」
生まれてくると言う事は、もと来た道を帰るのと同じこと。

■親鸞

「あすありと 思ふ心の あだ桜 夜半に嵐の 吹かぬものかは」
人の寿命など分らない。

これだけ勉強なさったら、ご自分の後世に残す辞世を達者なうちに考えて頂いて、「さすがやな」と言われる人生をお互いに送れたらと思います。
ありがとうございました。



米山奨学生 ムニョス・ガジャルド、ナイラさんとの交流会

日時：9月28日（土）12：00～

場所：奈良ヤクルト販売 西大寺センター





本日計 61,000円 累計 996,000円

田野瀬良太郎様 ニコニコ協力！！（先週の卓話講師の田野瀬様より、ニコニコ協力として、お車代を全額ご協力していただきました）

小西敏文 君 本日の卓話の岡本彰夫様 有難うございます。楽しみに聞かせていただきます。

植倉一正 君 岡本様、本日は卓話ありがとうございます。また、交通安全市民決起大会に参加下さいました皆さん、ありがとうございました。

有井邦夫 君 岡本権宮司様、本日は卓話よろしくお願い致します。

武藤廣茂 君 春日大社 岡本権宮司様、本日は卓話よろしくお願い致します。箸尾様、昨日は、お世話になりました。

松岡嘉平治君 昨日の国立文楽劇場の翁舞の講演、大変一座の皆さんのご努力で大好評でした。鈴木浩之さんも鼓をたたかれました。

佐川 肇 君 アジアマスター時射撃大会の為、モンゴルへ行ってきました。暖房は9月15日からということで、寒くて風邪を引いてしまいました。未だに調子が戻りません。

平野貞治 君 ちょっと旅をしていましたので、折角の家族親睦会、残念でした。金星さんおめでとう。

矢追家麻呂君 ニコニコ協力

濱田英資 君 ニコニコ協力

森 一紀 君 ニコニコに協力して

森 完二 君 ニコニコ協力

西本隆一 君 ニコニコ協力

西口栄一 君 ニコニコ協力

平方貴之 君 ニコニコ協力

例会変更のお知らせ

10 月

■平城京ロータリークラブ■

・10月3日（木）・・・定款第6条1節(C)により、休会。
※ビジター受付は行いません。

■奈良西ロータリークラブ■

・10月24日（木）・・・定款第6条1節(C)により、休会。
※ビジター受付は行いません。
・10月31日（木）・・・お疲れ様会のため、会場変更。
※ビジター受付は、同日17：30-18：00奈良ロイヤルホテル
フロント横にて行います。

次週の例会

平成25年10月8日（火）

卓話 SMBC日興証券(株) 公益・法人営業業務部

営業支援課長 小林 一樹 様

「激動する株式市場」